



【RPE】★日本のアニメにみる「最上の価値」

1 件のメッセージ

mag2 0000012950 <mailmag@mag2tegami.com>

2023年4月30日 14:09

返信先: 0000012950_n2csyj@publisher.mag2.com

To: 3443akira@gmail.com

【RPE】★日本のアニメにみる「最上の価値」

RPE Journal=====

ロシア政治経済ジャーナルNo.2469

2023/4/30

=====
今日は、日本のアニメが、子供たちに「最上の価値」をうえつけて
いるかもというお話です。

★日本のアニメにみる「最上の価値」

全世界のRPE読者の皆さま、こんにちは！

北野です。

今日は、世界情勢とは関係ない話です。

私が日本に完全帰国して、はや5年目になります。

ロシアの現状を見るに、「完全帰国して本当によかった」と
思います。

完全帰国時、娘は7歳、息子は3歳でした。

今では娘12歳、息子8歳になりました。

帰国時は、二人とも全然日本語を話せませんでした。

今では二人とも日本語ペラペラで、娘は毎日一冊、日本語
の本を読んでいます。

そんな二人ですが、ロシアにいるときは、主にアメリカ、
イギリス、フランス、イタリア、ロシアなどのアニメをみ
ていました。

音声はロシア語です。

しかし、日本に帰国した後は、普通の日本人の子供達同様、日本のアニメにはまりました。

アンパンマン、ドラえもん、ポケモン、妖怪ウォッチなどを通過し、今は、

- ・名探偵コナン
- ・ワンピース
- ・僕のヒーローアカデミー
- ・呪術廻戦
- ・炎炎ノ消防隊

などを喜んでみえています。

私も子供達につきあって時々見るのですが、気づいたことがあります。

それは、日本のアニメは子供たちに、「最上の価値」をさりげなく植えつけているということです。

どういことでしょうか？

▼最上の価値とは？

ところで、日本のアニメが植えつけている「人類最上の価値」とは何でしょうか？

この世界には、いろいろな価値観があります。

もっともポピュラーなのは、「お金」でしょう。

日本でも世界でも、「お金」が動機で、他国のスパイになる人はたくさんいます。

たとえば2020年1月、ソフトバンクの元社員が不正に取得した機密情報をロシア通商代表部の職員に渡していたことが発覚し、逮捕されました。

動機は、お金だったようです。

中国は、「お金は強力な武器」であることを理解していて、世界中で政治家、学者、ジャーナリストなどを買収しています。

しかし、お金を上回る価値ももちろんあります。

たとえば、命です。

あなたは1億円もっている。

「お金と命、どっちが大事？」

と聞かれたら、当然「命の方が大事」と答えるでしょう。

命があれば、また1億円稼ぐこともできるでしょう。

しかし、死んだら、1億円を使うことはできません。

あの世に、1億円をもっていくことはできないのです。

では、お金や命を上回る価値はあるのでしょうか？

ほとんどの人にとって、命は最上の価値だろうと思います。

ですが、ある人々にとって、あることが「命以上の価値」を持つことがあります。

たとえばゼレンスキー。

米英は、ゼレンスキーに、「脱出して亡命政権を作れ。我々が手伝うから」と提案しました。

もちろん、ゼレンスキーと家族、閣僚たちの脱出は、米英が行います。

脱出すれば、ゼレンスキーと家族の命は保証されるでしょう。

しかし、彼は米英の提案を断り、キーウに残り、軍、国民と共に戦うことを選んだのです。

彼は、自ら「死ぬ可能性が高い選択」をしたのです。

人は、時々、

「国を守ること」「自由」「民主主義」「言論の自由」
「人権」

などのために命をかけることがあります。

日本の倒幕と明治維新、

歴史上の独立戦争、

革命、

これらは、まさに「命がけ」。

もし志士たちが、「命が惜しいから、討幕はしません」となれば、明治維新は起こらなかったでしょう。

植民地アメリカ人が、「命が惜しいから、独立はやめよう」となれば、アメリカは、いまだにイギリスの植民地だっ

たでしょう。

要するに、命を超越する人たちが、歴史を動かしてきたのです。

さて、すべての宗教で、「最上」とされる価値があります。

それは、「他の人のために、自分の命をかけること」です。

普通の人にとっては、「自分の命」が最上の価値。

それで「他人の命を守るために」自分の命を犠牲にすることは、「もっとも尊いこと」とされているのです。

日本のアニメを見ていると、「他人のために、自分の命をかけること」は、

「当たり前のこと」と表現されています。

家の子供たちが喜んで見ている、

- ・名探偵コナン
- ・ワンピース
- ・僕のヒーローアカデミー
- ・呪術廻戦
- ・炎炎ノ消防隊

これらすべてのアニメで、主人公と仲間たちは、他の人を守るために自分の命をかけています。

「他の人のために命をかける」というのは、「究極状態」ですが、

普段から「自分のことより他の人のことを考える」という価値観形成に影響を与えているのではないのでしょうか。

というわけで、今回は28年モスクワに住んで日本に戻ってきた私が、

「日本のアニメは、子供たちに最上の価値を植えつけていると思った」

という話でした。

皆さんは、どう思われますか？

tjkitanojp@yahoo.co.jp

〇を@にかえて、ご意見お聞かせください。